

愛媛県立川之江高等学校 令和8年度 シラバス

教 科	家庭	科 目	家庭基礎
単 位 数	2 単位	学年・類型	第1 学年・全クラス
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎 (教育図書)		
補助教材等	生活ハンドブック (第一学習社)、家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)、調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)		

1 学習目標

- 人の一生と家庭・家族及び福祉、衣食住、消費生活や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けます。
- 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養います。
- 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養います。

2 学習方法

- 授業、家庭科ノート・調理実習ノート・ワークシートの記入、視聴覚機器の利用、実習など、様々な学習形態を通して、家庭生活を営むために必要な知識や技術を実践的、体験的に学習します。
- 家庭科ノート・調理実習ノート・ワークシートの保管・管理は重要です。きちんとまとめておきましょう。
- 家族の一員として役割を果たすために、家族との会話を大切にしましょう。また、授業で身に付けた知識や技術を定着させるために、積極的に家事を行い、生活の改善・充実に努めましょう。
- 実践力を養うために、ホームプロジェクト、家庭クラブ活動に参加しましょう。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的な知識や技術を身に付けている。	○学習状況の観察 ○ワークシート・ノート ○実験・実習 ○作品・ホームプロジェクト ○定期考査
思考・判断・表現		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、その解決のために論理的に表現するなどして課題解決能力を身に付けている。	○学習状況の観察 ○DVD鑑賞等の感想 ○ワークシート ○作品・ホームプロジェクト ○定期考査
主体的に学習に取り組む態度		様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○学習状況の観察 ○ワークシート ○実験・実習 ○作品・ホームプロジェクト ○ノートや課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、ノートや課題等の提出状況、作品、授業態度・出席状況などを総合して行います。
学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 学習は継続することによってその知識を習得し、活用する能力を身に付けることができます。遅刻や欠席、早退をなくし、教科書などの忘れ物がないようにしましょう。
- 授業中は学習に集中し、私語は慎みましょう。
- 作品製作や実習には真摯に取り組み、必ず提出期限を守りましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	Introduction 生涯の生活設計1 1 自分の将来をイメージしよう！	これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標を立て、そのための意思決定について考えます。
5	A編 第1章 青年期の自立と家族・家庭 1 自立への一歩を踏み出そう 2 家族・家庭って何？ 3 将来の自分と家庭を想像しよう	- 青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考えます。 - ワーク・ライフ・バランスを考え、将来の職業生活・家庭生活について考えます。
6	第3章 高齢期の生活と福祉 1 高齢期ってどういう時期？ 2 高齢化する日本を生きる	- 高齢期の心身の変化について知り、高齢期に特徴的な疾病について理解します。 - 高齢者介護、社会的孤立などの課題について考えます。
8	第4章 共生社会と福祉 1 共生ってなんだろう？ 2 ともに支え合う社会とは	- 社会保障の機能と社会保障制度、公的年金制度について理解します。 - ノーマライゼーションを実現するためのバリアフリーとユニバーサルデザインやボランティア活動について考えます。
9	第2章 子どもの生活と保育 1 子どもはどう生まれ育つ？ 2 子どもとどうかかわる？ 3 子育て社会の課題とは？	- 乳幼児期における子どもの発達・発育について理解します。 - 親の役割について考え、理解します。 - 親の不安と子育ての問題について話し合い、考えます。
7	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、実践します。
10	C編 第1章 消費生活と経済計画 1 何をどうやって買う？ 2 消費者問題と消費者を守るしくみとは 3 消費者の権利と責任を考えよう 4 社会経済につながる家計とは？ 5 将来の経済計画を考えよう	- 消費生活が契約で成り立つことを理解します。 - 悪徳商法やインターネットトラブルなどの消費者問題について考えます。 - 家計・企業・政府の関係について理解します。 - 人生にかかるお金とリスクについて知り、ライフイベントとかかるお金について理解します。
11	第2章 持続可能なライフスタイルと環境 1 未来の地球環境は大丈夫？ 2 持続可能な消費行動とは	- 暮らしと環境問題との関わりと、私たちの生活と世界のつながりについて考え、自分や地域ができることを話し合います。 - フェアトレードなどのエシカル消費の仕組みについて理解します。
12	B編 第2章 衣生活と健康 1 衣服の役割ってなんだろう？ 2 衣服はどうやってつくられている？ 3 衣服の計画・管理を知ろう 4 今後の衣生活を考えよう	- 衣服の役割と機能について考えます。 - 天然繊維と化学繊維の種類と特徴について理解します。 - 衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考えます。 - 環境に配慮した、衣服に関わる新しい取り組みについて考えます。
	第3章 住生活と住環境 1 私たちの暮らす住まいとは？ 2 快適・安全に暮らそう 3 持続可能な住まいのために	- 住まいの空間と役割について考え、理解します。 - ハザードマップを調べ、自然災害から身を守るための対策について考え、話し合います。 - 日本の住まいの自然との関わりについて理解します。
	第1章 食生活と健康	食事の持つ役割を考え、食生活指針を理解します。

1	1 なぜ食べるのだろう？	・ 食品に含まれる栄養素について理解します。
	2 私たちは何を食べている？	・ 表示の見方について理解します。
2	3 食品を選ぼう	・ 食品群別摂取量の目安を理解します。
	4 今の未来の体をつくろう 調理実習	・ 調理の基本的な技術を身に付け、安全や衛生面に配慮した調理ができるようにします。
	5 持続可能な食生活を目指そう	・ 食生活と環境のつながりについて考えます。
3	Summary 生涯の生活設計2	・ 家庭基礎の学習を生かし、将来の生活に向かって目標を立て、自分らしい生活を設計することの意義を理解します。
	1 Well-being を実現しよう！	